

平成 29 年 4 月定例教育委員会 会議録

1. 日 時 平成 29 年 4 月 27 日 (木) 開 会 午後 1 時 30 分
閉 会 午後 2 時 45 分
2. 会 場 茅野市役所 602 会議室
3. 出席委員 教育長 山田 利幸 同職務代理者 矢崎 靖雄
教育委員 小林 智 教育委員 小林 俊恵
教育委員 小平 光子
出席者 生涯学習部長 平出 信次 こども部長 牛山津人志
学校教育課長 有賀 淳一 スポーツ健康課長 鋤柄 敏
幼児教育課長 五味留美子 こども課長 五味 健志
生涯学習課長 藤森 隆 文化財課長 守矢 昌文
公民館長 矢島喜久雄
教育総務係長 渡辺 雄一 こども係長 今井 明彦
生涯学習係長 伊藤 研一
教育総務主事 丸茂 直樹
4. 傍聴者 1 名

4月定例教育委員会次第

日 時 平成29年4月27日（木）午後1時30分から

場 所 市役所 602会議室

1 開 会

2 前回会議録の承認

3 報告事項

第1号 教育長報告

第2号 各課からの報告

（1）学校教育課

（2）こども課

（3）幼児教育課

（4）生涯学習課

（5）公民館

（6）文化財課

（7）スポーツ健康課

第3号 教育委員会共催後援

（1）生涯学習課

（2）スポーツ健康課

4 議 案

（1）茅野市社会教育委員会等の委員委嘱について

（2）県教育委員会及び市町村教育委員会相互の連絡調整について

5 検討事項

今回はありません。

6 その他

（1）教育委員会各部の経営方針と目標（平成29年度）について

（2）保育園管理計画について

（3）茅野市自立支援教育訓練給付金事業実施要綱の一部改正について

（4）平成28年度相談状況について

（5）セカンドブックの手渡しについて

（6）平成29年度主幹指導主事学校訪問日程について

（7）縄文科の状況について

（8）学童クラブの状況について

（9）茅野市勤労青少年ホームの廃止について

次回定例教育委員会日程について

5月30日（火）午前9時30分「705会議室」

（事務局会議 5月16日（火）午前9時00分「602会議室」）

教育長

只今から、4月定例教育委員会を開催します。

前月の3月の会議録の確認をします。何かありますか。

全委員

異議なし。

教育長

それでは報告第1号教育長報告をさせていただきます。

1日にロングモントジョイントコンサートがありました。ロングモントの吹奏楽部と茅野市の東海高校の吹奏楽部で一緒になって、演奏いたしました。練習する時間は全然ない状態での演奏でしたが、とても素晴らしい演奏で、是非小中学校にも見ていただきたかったです。

3日に保育園の入園式に参加してきました。委員の皆さまには、それぞれ保育園に参加していただきました。

13日に子ども会育成連合会研修会がありました。様々な立場の人がおり、スポーツの面から子どもを支えていたり、健全育成の面から子どもを支える人がしたりして、茅野市の子どもはとても多くの人達に支えられながら育っていると感じました。

19日縄文ガイドブック発刊記者会見がありました。この縄文ガイドブックですが、対象は中学生以上ということでしたが、小学生でも使えるものだと思います。できれば各小中学校の図書館に1クラス分いただけると学校の授業でも使えてとても良いと思いました。

21日信濃教育会の方が来訪されました。今年の11月18日に信州教育の日ということが行われまして、構成している団体は校長会をはじめとして30団体ほどです。今年は市民館を会場として茅野市で行いたいそうです。シンポジウムを行うそうですが、今のところ縄文プロジェクト関係の方、学校関係の方でどうやって子どもを育てていくかと話し合いたいそんな風に考えています。学校発表がありまして1つは富士見高校、諏訪西中、泉野小学校が発表となります。泉野小の発表は地域と共に育んだ廻り舞台、縄文科を合わせて発表したいと思います。

24日に総文祭役員の方が来庁されました。全国総合文化祭が長野県に順番が回ってきてまして平成30年に市民館と理科大を使って自然科学の催しを行う予定です。

[各課から5月行事予定について報告]

資料（報告2号）

教育長

次に報告事項第3号、教育委員会共催・後援についてお願いします。

[生涯学習課、スポーツ健康課から教育委員会共催・後援について報告]

資料（報告 3 号）

教育長

次に議案 1 号「茅野市社会教育委員会等の委員委嘱について」生涯学習部長からお願いいたします。

【概要】

生涯学習部長

茅野市社会教育委員・茅野市博物館協議会委員・公民館運営審議会委員・文化財審議委員会委員について資料の通り委嘱してよろしいでしょうか。期間については、平成 29 年 4 月 1 日から平成 31 年 3 月 31 日までの 2 年間となります。

教育長

ご意見等ございませんか。

特にないようですので、資料の方に委員を委嘱したいと思います。

次に議案 2 号「県教育委員会及び市町村教育委員会相互の連絡調整について（案）」学校教育課長お願いいたします。

学校教育課長

学校教職員の任免についての了解事項になります。長野県教育委員会と市町村教育委員会は、全県的視野に立って教育行政の適正かつ円滑な運営を図るため、教職員の任免その他の進退等に関して、次の了解事項を取り交わすというものになります。毎年 6 月 1 日から次の年の 5 月 31 日までの間これを実施するものとなっております。

教育長

ご意見等ございませんか。

特にないようですので、承認ということで 6 月 1 日から実施させていただきます。

次にその他 1「教育委員会各部の経営方針と目標（平成 29 年度）について各部長と私から説明させていただきます。

まず私から茅野市教育の経営方針と目標について説明させていただきます。

資料説明（その他 1）

【概要】

I 経営方針

「21 世紀を切り開く豊かでたくましく、やさしい、夢のある、人育ちの茅野市教育」の実現を基本目標とします。

Ⅱ 各部の重点取組

- 1 子ども・家庭への支援・応援を図り、幼児教育を充実させます。
- 2 次世代を担うひとづくりのため学校教育を充実させます
- 3 学習機会の充実と場の提供に努め生涯学習を充実させます

※以上の、重点取組の推進と各部・各課の横の連携の仕組みづくりに努めます。

こども部長

資料説明（その他 1）

1 経営方針

こども部では、茅野市教育大綱の教育理念に沿って、「21 世紀を切り開く心豊かでたくましく、やさしい、夢のある人育ちの茅野市教育」を進め、子どもたちの「生きる力」を育むため、「子ども・家庭への支援・応援」、「次世代を担うひとづくり」に積極的に取り組みます。そのために、0 歳から 18 歳までの子どもの育ちと教育を一体的、一元的に取り組み、子どもが生まれる前から 18 歳になるまでの一貫した施策の実現を図るため、第 2 次茅野市こども・家庭応援計画（どんぐりプラン）の「学ぶ」「支える」「つなぐ」「親育ち」の施策を積極的に推進し、子育て、教育、親育ちを通して人間として生きる姿勢の形成をめざします。また、本年度から小中一貫教育を本格実施するとともに、引き続き知・徳・体・食のバランスの取れた教育の推進、更にはコミュニティスクールの設置に取り組みます。さらに、人口減少・少子高齢化対策の最重要課題への対応を図るために、茅野市総合戦略に基づき、多子世帯の学童クラブ使用料や保育料の軽減を図り、「安心して子育てできる環境をつくる」取り組みを推進します。

この方針のもと、こども部は、次の 6 つを重点的取組とします。

- （1）子どもの「育ち」の視点に立って保健・医療・福祉・教育が連携した支援
- （2）家庭や地域との連携により家庭養育の補完を行う保育の充実と幼稚園への支援
- （3）確かな学力が習得され、安心して教育が受けられる学校づくり
- （4）子どもと家庭を応援する組織の充実とネットワークの強化
- （5）保育所の充実
- （6）小中学校の充実

生涯学習部長

資料説明（その他 1）

1 経営方針

少子高齢化の進行や高度情報化の進展、グローバル化等、めまぐるしく社会が変化する中で、核家族化・少子化による家庭の教育力の低下や地縁的なつながりの減少による地域の教育力の低下、高齢化による地域社会の活力の低下等が大きな課題になっています。

平成 29 年度は「生涯を通じて楽しく学び続ける元気で心豊かな市民を育む」を掲げた茅野市民プランのまとめの年であり、次の総合計画策定に向けて動き出す年でもあります。豊かで住みやすいまちを築くためには、地域の特性を生かしたまちづくりが必要です。地域がどれだけ知恵を出せるか、地域の資源をどれだけ生かせるかに地域の創生はかかっています。生涯学習部は「茅野市教育大綱」に掲げているとおり、「いつでも」、「どこでも」、「だれでも」学び続けられる環境を整え、自らの資質と能力を生かし、目標に向かって努力を重ねることで「生きる力」を育みます。また、未来を切り開き、創造力あふれる人づくりを目指し、「生涯学習の充実」を基本方針として、社会教育の推進、スポーツを通じた健康づくり、文化・芸術の進行と推進、歴史、文化資産の保護と活用に取り組みます。

この方針のもと、生涯学習部は、次の 9 つを重点取組とします。

- (1) 市民の生涯学習活動と市民参画参加型社会の充実
- (2) 公民館の充実
- (3) 図書館の充実
- (4) 文化財の充実
- (5) 八ヶ岳総合博物館の充実
- (6) 尖石縄文考古館、青少年自然の森の充実
- (7) 総合体育館・運動公園の充実
- (8) 文化・芸術の進行、保護、伝承
- (9) 多文化共生に向けた支援の充実

教育長

ご意見等ございませんか。

次にその他 2 「保育園管理計画について」 幼児教育課長お願いいたします。

幼児教育課長

保護者説明会を行い、修正した茅野市保育園管理計画を保育所運営審議会にて諮問したものの答申をいただき、3 月末に正式な決定となりました。今回の資料は正式な茅野市保育園管理計画となっております。以前の教育委員会で説明した修正案と大きく変更はございませんので、資料に目を通していただけたらと思います。

教育長

ご意見等ございませんか。

次にその他 3 「茅野市自立支援教育訓練給付金事業実施要綱の一部改正について」 こども課長からお願いします。

こども課長

国で要綱の一部が改正されたということで、「自立支援教育訓練給付金事業支給要項」が雇用保険の受給資格のないひとり親が、地方自治体が指定した教育訓練講座を受講し、修了した場合にその経費の一部を支給し（費用の 6 割：上限 20 万）、さらに、雇用保険の受給資格があり、一般教育訓練給付（費用の 2 割：上限 10 万円）の支給を受けるひとり親に対しても、費用の 6 割（上限 20 万円）との差額を上乗せして支給することに伴う所要の改正となります。適用年月日は平成 29 年 4 月 1 日からとなっております

教育長

ご意見等ございませんか。

次にその他 4 「平成 28 年度相談状況について」 こども課長からお願いします。

こども課長

平成 28 年度の相談状況について説明させていただきます。平成 28 年度の相談件数は合計で 3068 件となっております。相談件数は家庭児童相談室、教育委員会（家庭教育センターも含む）、こども館、発達支援センター、CHUKO らんどチノチノで相談した件数を集計したものです。28 年度から相談件数のカウントの方法を変更しました。平成 27 年度までは継続ケースについて新年度に扱ったものはすべて新規として扱ってきましたが、28 年度からは継続ケースは新規扱いしないこととしました。28 年度に合わせた相談件数を修正として掲載しております。27 年度修正が修正した表になります。

1 内容別相談件数ですが、性格行動相談や適性相談（就学相談）が多くなっている。育児、しつけ相談は、28 年度はやや減ったが、件数としては依然として多く 22 パーセント占めている。育児に対する不安が大きいことが起因していると思われる。児童虐待、養護相談については、継続件数を加味すると横ばいの状況である。

2 形態別相談件数で 1 番多いのは来室相談で、次に学校訪問、電話相談の順である。27 年度から来室相談が増加し 400 件を超えている。これは、発達支援センターが周知され来室相談が増えたこと、またこども館を利用した人の相談が多くなったことも 1 つの理由と考える。

3 相談対象者件数の多いのは順に幼児、園児、小学生で全体の 80%を占めている。年齢があがると相談件数は減少してくるが、高校生は、CHUKO らんどチノチノで自身の相談が多くなっている。

4 経路別相談件数については、家庭が 1 番多く 50 パーセント以上占めている。学校・保育所の相談については、継続的な相談が増えていることもあり経路別の中では件数も多

い。児童・本人の相談は、CHIUKO らんどチノチノでの中学生や高校生自身の相談と、成人がほとんどである

5 虐待について、平成 22～28 年度における茅野市の児童虐待の延べ人数と新規件数の推移は、25 年度から「虐待の疑い」もカウントすることとなったため、児童虐待実質件数が増えてきている。平成 25 年度から延べ件数が多くなってきたのは、要保護児童対策地域協議会が機能し、訪問・面談を細目に行い、個別ケース検討会議を頻繁に開催し、多くの関係期間と密に連携する相談体制が充実しているためである。個々のケースの課題も複雑化されていることからなかなか終結しないことも一因である。平成 27 年度と 28 年度児童虐待の区分別の相談件数の比較としては、心理的虐待が 42 パーセントと多く、ネグレクト身体的虐待と続いている。心理的虐待は、こどもの前で DV(ドメスティック・バイオレンス)が行われたことによる通告が多い。主な虐待者としては全国とほぼ同じで 1 番多いのは実母、2 番目は実父となっている。被虐待児童の年齢は、0 歳～小学生までで 85%を占めている。こどもの年齢が低いほど生命の危険にさらされている度合いが高まる。健康管理センター・保健福祉 SC や医療機関、警察、児童相談所、幼稚園、保育園との連携を図っていくことが大切である。虐待通報経路は、28 年度は諏訪児童相談所からの虐待連絡や問い合わせ及び安全確認等が多くあった。また他市町村からのケース移管も増えてきている。家族からの通告が増え、特に祖父母からの相談が多く、家族内では解決できない悩みが増えていると思われる。また、今年度は近隣からの通告も増えている。

教育長

ご意見等ございませんか。

次にその他 5 「セカンドブックの手渡しについて」生涯学習課長からお願いします。

生涯学習課長

平成 29 年度のセカンドブック手渡しの日程が決まり資料の通りとなりましたのでお知らせします。理事者については参加の日程が決まっておりますが、教育委員についてはまだ決まっておりません。委員の方々でご都合のつく日程を決めていただきたいと思います。会議終了後時間があれば決めていただきたいと思いますのでよろしくお願いいたします。

教育長

ご意見等ございませんか。

次にその他 6 「平成 29 年度主幹指導主事学校訪問日程について」学校教育課長からお願いします。

学校教育課長

本年度の主幹主事の学校訪問の日程が決まりましたのでお知らせいたします。今年度も A タイプと B タイプの二種類の訪問があります。A タイプについては 1 つの学校に終日、B タイプについて 1 日に複数校回るといった内容になっております。こちらでも毎年教育委員の方々に参加していただいておりますので、会議終了後に参加する日程の相談をお願いいたします。昨年度から変わった点がありまして、昨年度まで事前説明のため担当校にお越しいただいておりますが、本年度より原則として事前説明は省略させていただきます。ご案内を 10 日前までに各校から送付させていただきます。説明資料を同封いたしますので、事前に目を通していただきご出席をお願いいたします。

教育長

ご意見等ございませんか。

次にその他 7 「縄文科の状況について」伊藤教育指導主事からお願いします。

伊藤教育指導主事

H28 年の活動と成果について説明させていただきます。市内各学校長・教頭で組織した縄文科推進委員会を年会に 8 回もち、八ヶ岳山麓の縄文文化について研修を深め、各校の指導計画や関連指導構想を交換しました。また新任校長・教頭への縄文科研修八ヶ岳山麓の縄文文化研修として、前尖石縄文考古館館長の鶴飼さん、現尖石縄文考古館館長の守矢さんのお二人に公園や館内説明をしてもらい、八ヶ岳山麓の縄文文化の基礎知識について理解を深めました。教頭・校長が縄文検定初級を受験し、全員合格しました。

年度当初の各校の指導計画の見直しと各学年・学級の関連指導構想立案を行いました。これまでの中学校の縄文科は、既存の学年や学校行事と絡めた活動が多かった。そこで、各校で縄文科のねらいに正面から取り組む学習を考え、実践をおこなった。

推進委員会での縄文科学習の授業公開を行いました。全部で 2 回行い、1 回目は豊平小学校、2 回目は東部中学校で行われ、小学校、中学校それぞれの現場で、実際にどんな活動を展開し、どんな学びが期待できそうか等をイメージするのに有効であった。

縄文科学習合同発表会を行いました。12 月 23 日に市内 13 校代表児童・生徒による縄文科学習の成果を発表する合同発表会を実施しました。各小中学校代表児童・生徒、保護者、市長、教育委員、学校教育課指導主事等が参加して市役所 8F 大ホールにて全校の発表と鑑賞を行い、学んだことを交流し合い、縄文人の心にせまることができた。また市役所でロビー展を行いました。前年度までは、活動内容の紹介が中心だったが、今回は活動を通してどんな学びがあったのか、縄文文化のすばらしさや「ふるさと茅野」への見方の深まりが表現されて、縄文科の目標に迫るものがあった。

子どもたちの学びの姿から、自分の願いをこめたマイ土器づくりを行った小学生は土器の施文に込められた縄文人のねがいに関心をもち想像しようとしていた。竪穴住居づくりを行った子は「クラスの団結力を養うことができた」「縄文人はこんな難しい作業や材料集

めをどんな風にやっていたのか知りたい」など体験的に協働のよさを感じる機会となっていた。

平成 29 年度の実践計画としては、昨年度の成果と課題をもとにした各校の縄文科学習指導計画、関連指導構想の見直し、更新と実践を行います。また八ヶ岳 JOMON フェスタ各企画への参加をとおして縄文科学習の広がりと深化を図ります。

今後の検討事項としては、縄文科の目標に関して、「未来社会への創造のヒント」的な意味合い加味して整理し直す。縄文科学習の対象、学習のあり方について、縄文に「特化」するか「ふるさと学習」を含めるか、探究的な学習にシボるのか、体験学習も含めて考えるか。縄文プロジェクト・八ヶ岳 JOMON ライフフェスティバル等、外部との連携の在り方などが検討事項となっております。

教育長

ご意見等ございませんか。

次にその他 8 「学童クラブの状況について」学校教育課長からお願いします。

学校教育課長

昨年は利用者 425 人だったのに対し、今年は 507 人となり増加しております。主に増えている学校は、永明第一、第二学童、宮川第一、第二学童、玉川第三学童、湖東学童となっております。また同時利用者に対して減免を行っております。第 2 子が同時に利用する場合は半額、第 3 子が同時に利用する場合は全額減免となっております。全体で 74 名がこちらの減免を行っております。第 2 子の減免は 69 人、第 3 子は 5 人となっております。利用額はこの減免により約 16 万円、年額約 190 万円の負担の軽減となっております。

教育長

ご意見等ございませんか。

次にその他 9 「茅野市勤労青年ホームの廃止について」生涯学習課長からお願いします。

生涯学習課長

現在、茅野市文化センターは、1 階・2 階が茅野市公民館、3 階が茅野市勤労青少年ホームで構成されています。茅野市公民館は、教育委員会が所管する社会教育施設ですが、茅野市勤労青少年ホームは市長から補助執行で教育長が事務を行っている施設です。このたび、茅野市勤労青少年ホームを廃止し、公民館に統合したいと考え、検討しております。茅野市勤労青少年ホームに関する経過ですが、昭和 53 年 5 月 1 日オープン、勤労青少年福祉法第 15 条の規定に基づき設置。国の補助金 3,000 万円、県の補助金 1,000 万円をもらって建設。平成 16 年度まで 3 階事務室に専任の社会教育指導員を置いていましたが、機構改革に伴い公民館と兼任となりました。それにより、勤労青少年ホーム講座も公民館講座に

統合しました。平成 24 年度をもって長野県勤労青少年ホーム連絡協議会を脱退しました。平成 27 年 10 月 1 日 勤労青少年福祉法の改正が施行され、第 15 条が削除されました。これにより、勤労青少年ホームは法の規定による施設ではなく、市町村が任意で設置する施設となりました。現在では、勤労青少年ホーム利用者の会（6 団体）があり、年 2 回の理事会と交流会を開催しています。利用者の会に加盟している団体は、2 月前から使用許可申請をできますが、他の団体は 1 月前にならないと使用許可申請ができないという違いがあるだけです。また、利用者の会の会員も大部分が 30 歳を超えています。

廃止する理由は法の規定が削除されたこと、勤労青少年ホームとして機能していないこと、勤労青少年ホーム利用者の会の同意も得られていること、公民館で「わかもの」向けの事業も行っていること。

今後の流れは市長宛てに勤労青少年ホームの廃止・公民館への統合を要請、市長部局（商工課）で補助金をもらったことに伴う財産処分の手続きを行う（補助金の返還は不要）。9 月議会（予定）で、茅野市文化センター条例及び茅野市勤労青少年ホーム条例を廃止し、茅野市公民館条例を改正する。

勤労青少年ホームを廃止し公民館へ統合した後の公民館の名称について、現在の公民館は、「茅野市公民館」という名称ですが、茅野市においては「公民館」というと各区・自治会の集会所というイメージが強いです。そのため、茅野市公民館といってもどこのことなのかかわからないという市民が多いのが現状です。そこで、区・自治会の公民館（分館）と差別化を図るため、名称を「茅野市中央公民館」としたいと考えています。名称については、関係各所と検討を重ねていきます。

教育長

質問等ございませんか。

本日の予定されていた議事は全て終了しました。

次回定例教育委員会ですが、5 月 30 日火曜日午前 9 時 30 分から、事前を午前 9 時 00 分から開催したいと思います。よろしいですか。

全委員

異議なし。

教育長

ご異議ないようですので、そのようにいたします。

以上で 4 月定例教育委員会を終了します。

茅野市教育委員会会議規則第 19 条第 2 項の規定によりここに署名する。

平成 29 年 5 月 30 日

茅野市教育委員会 教 育 長

同職務者代理

委 員

委 員

委 員

こ ども 部 長